

秦野市立 桜土手古墳展示館 だより

Vol.58 SAKURADOTE ARCHAEOLOGICAL MUSEUM

平成 29 年度 春 A 号

ミュージアム青空レクチャー

「菩提横手遺跡見学会」

秦野市菩提横手遺跡では、公益財団法人かながわ考古学財団により新東名高速道路建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施しています。

この調査では古墳時代後期の円墳 3 基が良好な状態で確認されており、複数基の円墳の調査は桜土手古墳群以来の発掘になります。

今回 広く一般の方々に地域の遺跡発掘調査について理解を深めていただくことを目的とした遺跡見学会を計画いたしました。古墳調査の様子を実際にご覧いただけます。



開催概要

日 時 平成 29 年 6 月 10 日(土)

発掘現場公開時間 10:00~12:00 および 14:00~16:00

発掘現場解説時刻 10:05 14:05

荒天時は翌日同時刻に順延

発掘現場 場所 秦野市菩提 1581 菩提横手遺跡発掘現場

交通案内

小田急線秦野駅 渋沢駅 神奈川中央交通バス
秦 51 系統 菩提 菩提原下車徒歩約 6 分
駐車場 菩提横手遺跡西側工事用道路
(係員の指示に従ってください)

現地地図



参加費 無料

事前申し込み 不要

内容

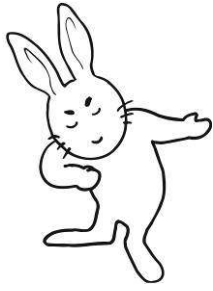
これまでの調査結果をいち早くご覧いただくとともに秦野市教育委員会が所蔵する市内の古墳から出土した資料も合わせて展示・説明いたします。当日 見学と同時にミニ講座(桜土手と菩提の時代 古墳時代の秦野盆地)も予定されています。

平成29年度春季特別展

「昭和の秦野 ～暮らしと道具展～」

桜土手古墳展示館では、市内の文化財や歴史への市民の皆様の理解を高めるため、テーマを決めて定期的に特別展を開催しています。

今回は、市民の暮らしに使用された道具類にスポットを当て秦野市教育委員会が所蔵する昭和30年代を中心とした 生活道具や生活の様子を写した写真を展示しています。



絶賛開催中



日時

平成 29 年 4 月 1 日(土)から
平成 29 年 6 月 30 日(金)まで
午前 9 時から午後 5 時まで
(入場は 4 時 30 分まで)

場所 桜土手古墳展示館 入場無料

展示内容 昭和 30 年代を中心に生活に
使用された道具、電化製品、生活の様子を
写した写真などを展示しています。ぜひご覧
いただき なつかしい昭和の秦野を思い出し
てください。



展示館 だよりミニレクチャー 秦野の原始・古代の遺跡めぐり「古墳時代編」

今回は2011年の展示館だよりに掲載した秦野の歴史についての解説の第4回目の再掲載です。



古墳時代を象徴する前方後円墳は、北海道、東北北部、沖縄を除く地域で発見されています。奈良県桜井市の倭迹迹日百襲姫命(やまとととひももそひめのみこと)の墓といわれる箸墓古墳(3世紀中ごろ)が最初の方後円墳といわれています。

この時代は、前方後円墳の時代であるとともに、畿内地方を中心とする大和政権が各地の勢力をまとめていく時代でもあります。また、奈良盆地を中心に前方後円墳が作られる3世紀中ごろから4世紀後半を前期、河内平野に巨大前方後円墳が

つくられる4世紀末から5世紀後半を中期、横穴式石室が導入される5世紀末から7世紀初頭を後期、前方後円墳がつくられなくなった7世紀前半から8世紀を終末期として分類されています。

秦野市内には、多くの古墳、横穴墓が確認されており、そのすべてが古墳時代後期に属するものです。市内には前期、中期の古墳は発見されていませんが、金目川水系に数基確認されており、平塚市の塚越古墳(北金目)や真土大塚山古墳(真土)があげられます。また、市内の古墳は、下大槻に所在する前方後円墳である二子塚古墳を除き、すべて円墳です。

弥生時代中期以降、ほとんど人が住んでいない状況であった秦野盆地でしたが、古墳時代前期に東田原にムラ(東田原中丸遺跡)が営まれます。しかし、ムラは長くは続かず終焉を迎えます。一方、盆地の外である大根や鶴巻の台地上では、古墳時代前、中期のムラが弥生時代以降、継続的に営まれていました。

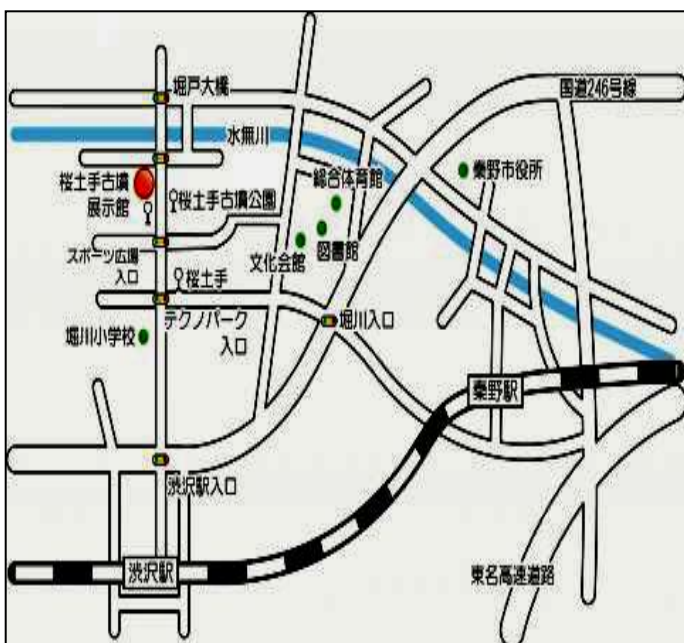
古墳時代後期に二子塚古墳がつくられます。平成20年度から行われた第2次調査で出土した須恵器や横穴式石室の形態から、この古墳は6世紀後半から7世紀初頭に属することがわかりました。また、平成22年度の調査では、石室から銀の金属部分に文様が施された銀装圭頭大刀が出土しました。このような事例は東日本ではほとんど見られないことから、この大刀を与えられた被葬者はヤマト政権と強いつながりがあったと考えられます。

二子塚古墳がつくられたころ、盆地内に大規模なムラが営まれ始めます。それは、現在の曾屋高校周辺の草山遺跡です。また、ムラが営まれた結果、盆地内に多くの古墳がつくられ始めます。それが桜土手古墳群などの水無川沿いに作られた古墳群なのです。

6世紀後半以降、秦野盆地は開発され、草山遺跡や西大竹尾尻遺跡群(現、日本赤十字病院周辺)のような大規模なムラが営まれます。そして、これらのムラは、古墳がつくられなくなった新しい律令国家体制を迎えても、継続してこの地に営まれていくのです。(つづく)



最新の情報:平成29年4月現在、新東名高速道路建設工事に伴う発掘調査により、桜土手古墳群と同時期の複数基古墳が菩提横手遺跡で確認されており発掘調査が継続中です。



<桜土手古墳展示館へのアクセス>

- ☆小田急線浪沢駅北口より徒歩20分
 - 〃 バス秦54 秦野駅行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分
 - 〃 バス秦08 秦野駅行「桜土手」下車 徒歩10分
 - 〃 渋05 高砂車庫前行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分
- ☆小田急線秦野駅北口より
 - 〃 バス秦54 浪沢駅北口行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分
 - 〃 バス秦08 浪沢駅北口行「桜土手」下車 徒歩10分
- ☆ 入館無料 開館時間午前9時～午後5時(月曜休館) 駐車場有
(入館は午後4:30までです)

桜土手古墳展示館だより Vol. 58号 平成29年度春A号

発行日 平成29年5月25日

編集発行 秦野市立桜土手古墳展示館

〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下380-3

TEL 0463-87-5542 FAX 0463-87-5794

ホームページ: [桜土手古墳展示館](#)